

令和6年度 函館市地域学校協働活動連絡会議委員名簿

資料1

(令和6年4月1日現在)

配置校	所属・役職	氏 名
青柳中学校, 弥生小学校, 青柳小学校, あさひ小学校	西部児童館 館長 (学校運営協議会委員)	工藤 勉
港中学校, 港小学校	港小学校 元PTA会長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	梅田 史恵
深堀中学校, 駒場小学校, 深堀小学校	地域包括支援センターゆのかわ 保健係長 (学校運営協議会委員)	京谷 佳子
五稜郭中学校, 万年橋小学校	北浜町会総務部長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	酒井 道子
北中学校, 北日吉小学校	北中学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	齊藤 文大
恵山中学校, えさん小学校	えさん小学校 PTA会長 (学校運営協議会委員)	三好 ひとみ
戸井学園, 戸井幼稚園	地域包括支援センター社協 管理者 (学校運営協議会委員)	高田 伸一
巴中学校	元的場中学校 PTA副会長 (学校運営協議会委員)	吉村 小織
桔梗中学校	桔梗中学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	千山 毅
中部小学校	学校給食会事務局長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	中村 ひでの
北星小学校	北星小学校 PTA顧問 (学校運営協議会委員)	梶原 亜里沙
千代田小学校	千代田小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	阿久津 満希
大森浜小学校	函館市PTA連合会 事務局長 (学校運営協議会委員)	中村 和代
高丘小学校	高丘小学校 元PTA会長, 高丘町会長 (学校運営協議会委員)	郷六 信司
中の沢小学校	中の沢小学校 PTA副会長 (学校運営協議会委員)	間 有紀
昭和小学校	昭和小学校 元PTA会長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	照井 千津
亀田小学校	亀田小学校 PTA役員 (学校運営協議会委員)	田中 真未
東山小学校	東山小学校 元PTA役員 (学校運営協議会委員)	松浪 あゆみ
南本通小学校	南本通小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	佐々木 麻紀子
本通中学校	南本通小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	神田 克実
市立函館高校	市立函館高校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	田中 慎一

令和6年度 計30校・1園 21名

函館市地域学校協働活動連絡会議設置要綱

(設置)

第1条 本市の地域学校協働活動の推進に関し必要な検討を行うため、函館市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に、函館市地域学校協働活動連絡会議（以下「会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 会議は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 各市立学校における地域学校協働活動の取組事例と本市の地域学校協働活動の今後の方向性に関すること。
- (2) 地域学校協働活動推進員の配置および地域学校協働本部の設置に関すること。
- (3) その他地域学校協働活動に関すること。

(組織)

第3条 会議は、函館市地域学校協働活動推進事業地域コーディネーター設置要綱に基づく地域コーディネーターで、教育委員会が委嘱する委員をもって組織する。

2 会議にオブザーバーを置き、必要に応じて意見、助言等を求めることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の末日までとする。

2 委員の再任は、妨げないものとする。

(座長)

第5条 会議に座長を置く。

- 2 座長は、委員の互選により定める。
- 3 座長は、会務を総理し、会議を代表する。
- 4 座長に事故等があるときは、あらかじめ座長の指名する委員がその職務を代行する。

(会議)

第6条 会議は、座長が招集する。

- 2 座長は、会議の議長となる。
- 3 座長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要に応じ、委員を招集し会議を開くことができる。

(庶務)

第7条 会議の庶務は、教育委員会学校教育部教育政策推進室学校再編・地域連携課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、座長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和2年7月28日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

函館市地域学校協働活動推進事業地域コーディネーター設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、函館市教育委員会（以下「委員会」という。）が委嘱する地域コーディネーターに関し、必要な事項を定めるものとする。

(委嘱)

第2条 地域コーディネーターは、函館市立の幼稚園、小学校、中学校および高等学校（以下「学校」という。）や地域の現状を理解し、学校の教育活動向上に意欲がある者のうちから、委員会が委嘱する。

(活動内容)

第3条 地域コーディネーターの活動内容は、次のとおりとする。

- (1) 学校の関係者、地域ボランティアとの連絡および調整に関すること。
- (2) 地域ボランティアに係る情報収集、育成等に関すること。
- (3) 学校への地域ボランティアに係る情報の提供に関すること。
- (4) 活動内容の発信および周知に関すること。
- (5) 前各号に掲げる活動内容のほか、委員会が必要と認めること。

(承認)

第4条 地域コーディネーターは、第2条の規定により委嘱される場合、承諾書（第1号様式）を委員会に提出しなければならない。

(活動状況の管理および活動記録の作成)

第5条 地域コーディネーターは、活動状況を報告するため、地域コーディネーター実績報告書（第2号様式）を委員会に提出しなければならない。

(身分証)

第6条 委員会は、第2条の規定により委嘱した地域コーディネーターに対し、身分証（第3号様式）を交付する。

2 地域コーディネーターは、活動に従事するときは、常に身分証を所持しなければならない。

(報酬)

第7条 地域コーディネーターの活動は、無報酬とする。

(任期)

第8条 地域コーディネーターの任期は、委嘱の日からその日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

(委嘱の辞退)

第9条 地域コーディネーターは、前条の任期の満了前に委嘱を辞退しようとするときは、14日前までに委員会に申し出なければならない。

(委嘱の解除)

第10条 委員会は、地域コーディネーターが次の各号のいずれかに該当する場合は、任期の満了前であっても委嘱を解くことができる。

- (1) 地域コーディネーターの活動を怠った場合
- (2) 心身の故障のため、活動の継続に支障があり、またはこれに堪えられない場合
- (3) 地域コーディネーター活動の実績が良くない場合
- (4) 地域コーディネーターとしてふさわしくない行為があった場合

(守秘義務)

第11条 地域コーディネーターは教育委員会または学校の許可があった場合を除き、その活動上知りえた秘密を漏らしてはならない。また、地域コーディネーターの委嘱期間終了後も同様とする。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行について必要な事項は、函館市教育委員会学校教育政策推進室学校再編・地域連携課長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年7月7日から施行する。

【様式第 1 号】

函館市地域学校協働活動推進事業
地域コーディネーター承諾書

私は、下記事項を了承し、函館市地域学校協働活動推進事業地域コーディネーターとなることを承諾します。

記

1 期 間 年 月 日～ 年 月 日

2 配 置 校 函館市立 学校

3 報 酬 無報酬とする。

年 月 日

函館市教育委員会 様

住 所

氏 名

印

【様式第 2 号】

年度 函館市地域学校協働活動推進事業

地域コーディネーター実績報告書（ 月分）

学校名		地域コーディネーター 氏名	
-----	--	------------------	--

活動日	曜日	活　動　内　容	活動時間 (24 時間表記)		本人印	校長印
			～			
			時間数	時間		
			～			
			時間数	時間		
			～			
			時間数	時間		
			～			
			時間数	時間		
			～			
			時間数	時間		
			～			
			時間数	時間		
			～			
			時間数	時間		
			～			
			時間数	時間		
			～			
			時間数	時間		
活動時間（合計）			時間			

※ 翌月 15 日までに、函館市教育委員会へ提出するものとする。

第 号

身分証明書

所属学校名：

氏 名：

生 年 月 日：

上記の者は、本市の地域学校協働活動推進事業地域コーディネーターであることを証明する。

任期 年 月 日
年 月 日

年 月 日

函館市教育委員会 印

地域コーディネーターの役割と重要性について

(内容)

- ・ 函館市のコミュニティ・スクールの現状
- ・ 地域コーディネーターの役割と活動について
- ・ 教職員の業務改善のための取組
- ・ 地域学校協働活動連絡会議の今後について

・ 令和6年7月1日（月）

・ 函館市教育委員会 学校再編・地域連携課

1 函館市の学校運営協議会の設置状況 (令和6年度)

- 小学校 38校
- 中学校 18校
- 義務教育学校 1校
- 高等学校 1校
- 幼稚園 1園

39 協議会
100%

地域コーディネーターの配置
30校・1園 計21名

2 地域コーディネーターの役割

- ・ 学校の関係者と地域をつなぐ役割
- ・ ボランティアの情報収集, 連絡, 調整

【学校】

- ・ こんな取組がしたい
- ・ こんな人材がほしい
- ・ 一緒に活動してもらいたい



【地域】

- ・ こんなことを知っている
- ・ こんなことができる
- ・ 何か役に立ちたい

知らせる

つなぐ

育てる

支える

地域コーディネーターの活動は...

「十人十色」

町会関係との
コネクションが強い！



PTA経験があるから
学校のことは
よく知っている！



福祉関係のノウハウは
まかせて！



地域コーディネーターの活動を...

持続可能な活動へ

子どもたちのために
学校と家庭と地域が一体となって



3 教職員の業務改善のための取組

(函館市教育委員会 平成29年策定 令和6年3月改定)

取組期間 令和8年度まで

目標 教職員の「時間外在校等時間」を1か月で45時間以内、
1年間で360時間以内とする

目指す姿 教職員一人一人が、「変わってきた」と実感できる働き
方改革の推進

取組内容 1 校務の効率化と役割分担の推進

(1) ICTの活用による校務効率化の推進

(2) 保護者・地域等との連携協働

(3) 専門スタッフ等の配置促進

(4) 学校給食費およびその他の学校徴収金の徴収・管理業務の
負担軽減

（２）保護者・地域等との連携協働

- ・ 町内会等とこれまで以上に連携し，地域として児童生徒の登下校や放課後の見守りを行う取組を推進します。
- ・ 学校・地域・家庭が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」への転換を図るため，コミュニティ・スクールの活用を推進します。
- ・ 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し，様々な取組を行うため，地域コーディネーターを配置するなど，地域学校協働活動の体制整備を進めます。

教師を取り巻く環境整備について緊急的 に取り組むべき施策（提言） 抜粋

（文部科学省 令和5年8月28日）

【緊急提言】

1. 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進
2. 学校における働き方改革の実効性の向上等
3. 持続可能な勤務環境整備等の支援の充実

1. 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進

「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応 ③学校徴収金の徴収・管理 ④地域ボランティアとの連絡調整 ※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。	⑤調査・統計等への回答等（事務職員等） ⑥児童生徒の休み時間における対応（輪番、地域ボランティア等） ⑦校内清掃（輪番、地域ボランティア等） ⑧部活動（部活動指導員等） ※ 部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。	⑨給食時の対応（学級担任と栄養教諭等との連携等） ⑩授業準備（補助的業務へのサポートスタッフの参画等） ⑪学習評価や成績処理（補助的業務へのサポートスタッフの参画等） ⑫学校行事の準備・運営（事務職員等との連携、一部外部委託等） ⑬進路指導（事務職員や外部人材との連携・協力等） ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専門スタッフとの連携・協力等）

令和5年度戸井学園 ・戸井幼稚園活動報告

地域コーディネーター 高田 伸一

学校の概要

(戸井幼稚園)

- ・ 5歳児2名、4歳児3名、3歳児2名（全園児7名）
- ・ 職員は、園長、教頭、教諭、用務員の4名

(戸井学園) 全校63名

- ・ ジュニアクラス（1～4年生）28名
- ・ ミドルクラス（5～7年生）22名
- ・ シニアクラス（8～9年生）13名



取り組み①

(戸井幼稚園での困りごとへの対応)

(経過)

- 第1回学校運営協議会にて戸井幼稚園より困りごとについて相談。
- 園児が使用している大きな積木が古くなり木の表面がささくれ状態になり、これまで職員が都度メンテナンスをしてきたが、対応が困難になってきているため、地域の方の協力でヤスリがけや塗装など支援していただけないかとの相談。
- 修復する予算もない。
- どのように地域の方へ調整して良いか分からない。

取り組み① (戸井幼稚園での 困りごとへの対応)

(対応)

- ・町会への声かけやボランティアへの声かけができる事を提案。
- ・ボランティアの都合で協力してほしいと話されていたが、日程を決めて対応した方が協力しやすいことを提案。
- ・ヤスリや塗料を購入する予算がないとのことでコーディネーターの活動予算を活用できる可能性があるため、確認させていただく事とした。
- ・ヤスリかけについては、積木の数も多く、手作業では大変であるため、戸井学園の技術室の工具を借りることはできないかを提案し、確認していただくこととした。

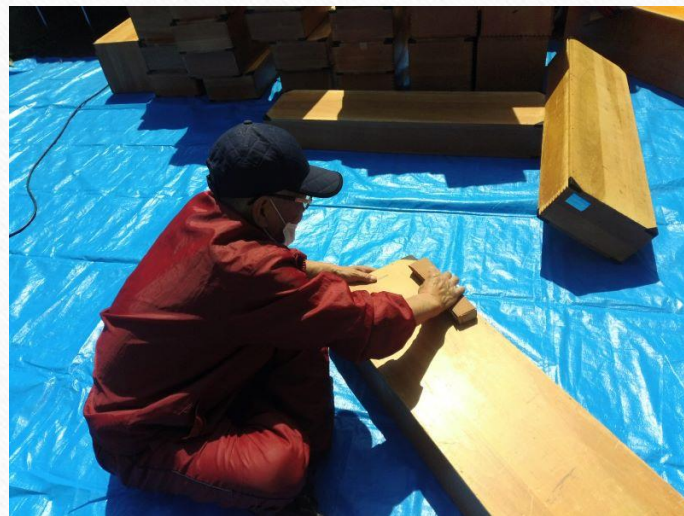
積木の状態



取り組み①（戸井幼稚園での 困りごとへの対応）

- 小安町会・釜谷町会・汐首町会の協力で無事修繕





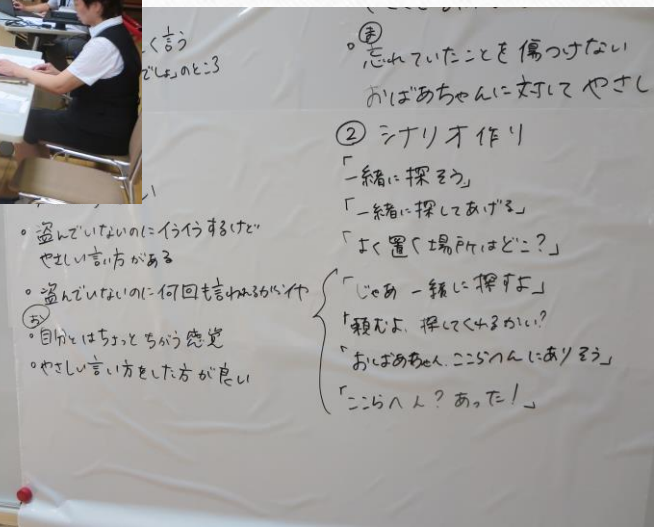
戸井学園

- 夏休みの2日間、冬休みの2日間を利用して福祉教育を実施してほしいと相談。対象の学年は5、6年生

(提案)

1. 認知症サポーター養成講座・車椅子の取り扱い
2. ノマリー教室
3. 多世代交流
4. 栄養から地域福祉を学ぶ

取り組み②戸井学園 認知症サポーター養成講座



取り組み②戸井学園 車椅子の取り扱い



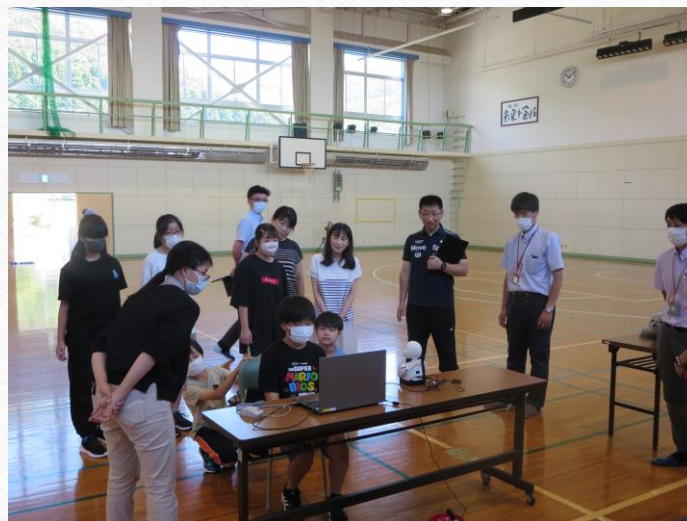
取り組み③戸井学園 ノーマリー教室（介護ロボット体験）

- 講師：マルベリーさわやかセンター函館



取り組み②戸井学園 ノーマリー教室（介護ロボット体験）

- 講師：マルベリーさわやかセンター函館



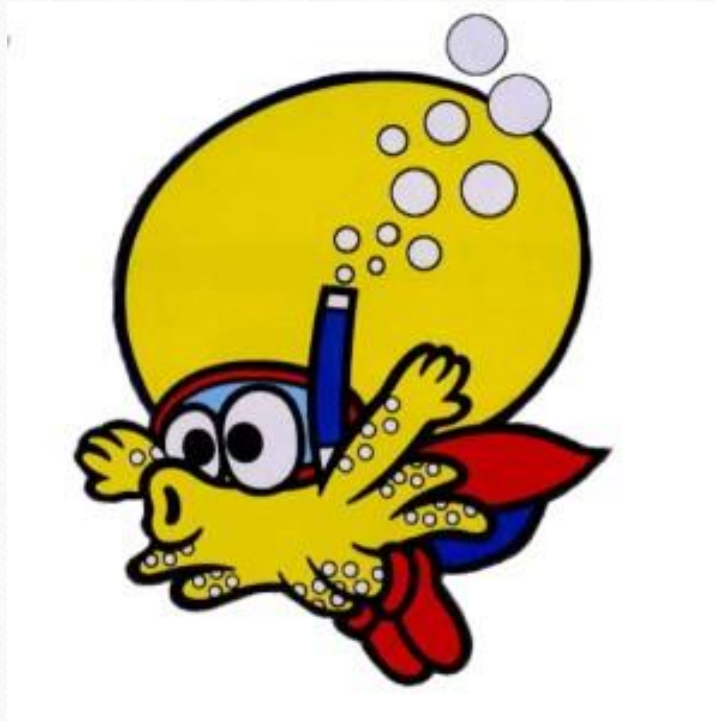
取り組み③戸井学園 餅つき体験多世代交流

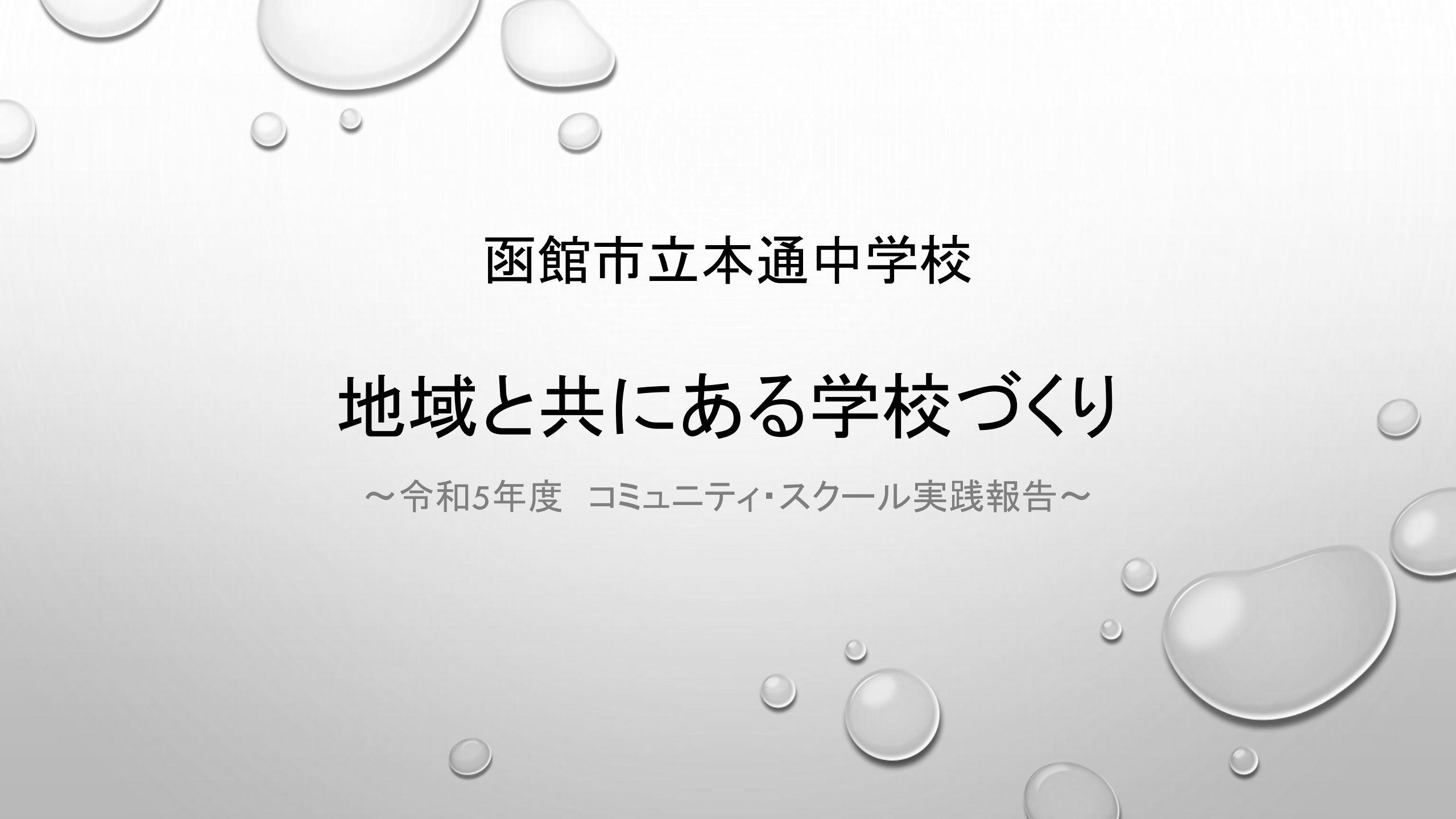


取り組み④戸井学園 栄養から地域福祉を学ぶ



ご静聴ありがとうございました。



The background of the entire page is a light gray gradient, decorated with numerous realistic water droplets of various sizes. Some droplets are large and prominent, while others are small and subtle, scattered across the top and bottom edges.

函館市立本通中学校

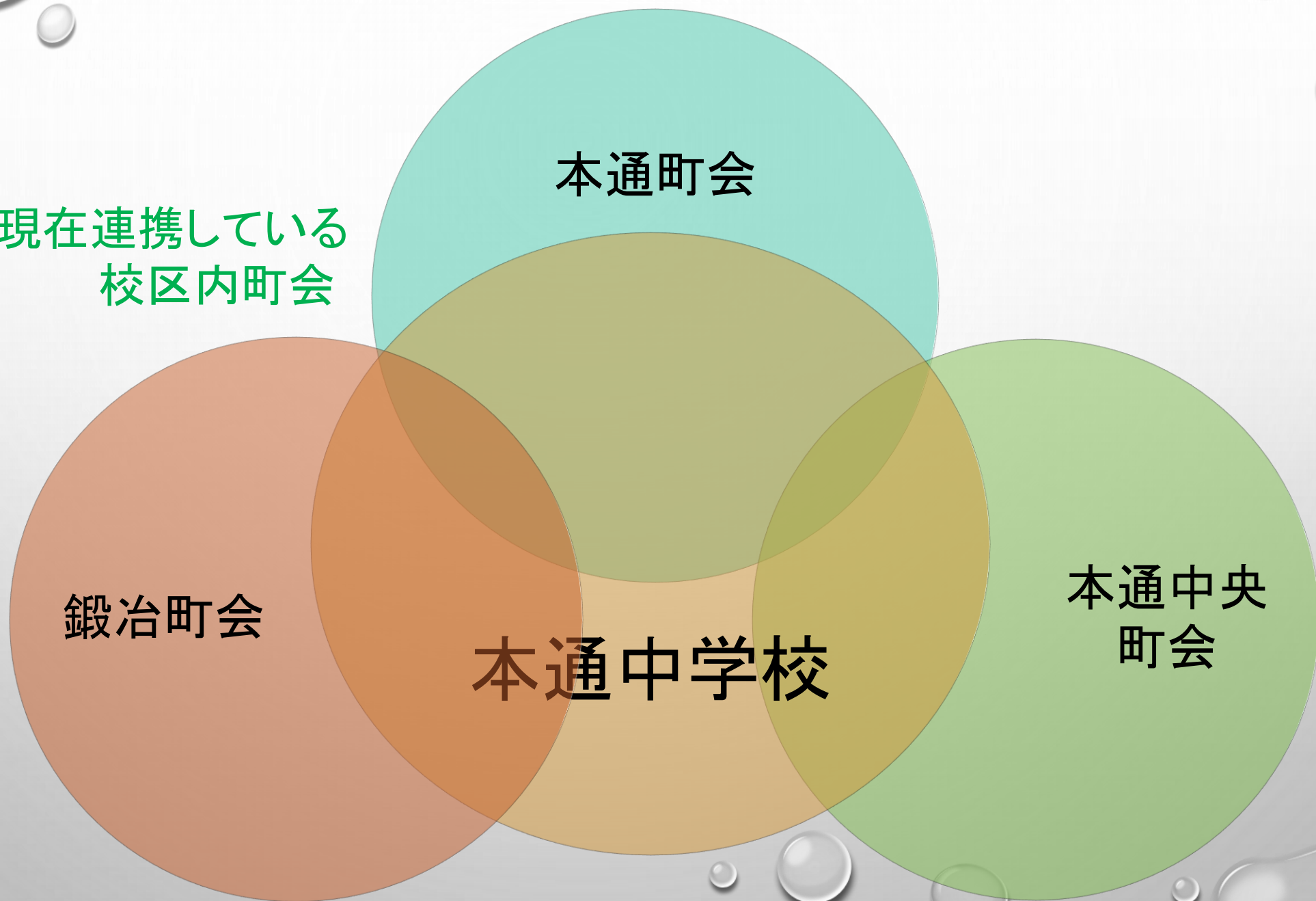
地域と共にある学校づくり

～令和5年度 コミュニティ・スクール実践報告～

令和6年度 函館市立本通中学校生徒数

1学年生徒数	男子	69名	女子	91名	合計	160名
2学年生徒数	男子	100名	女子	84名	合計	184名
3学年生徒数	男子	86名	女子	88名	合計	174名
特別支援学級生徒数	男子	15名	女子	6名	合計	21名
全校生徒数	男子	225名	女子	263名	合計	518名

本通中学校と現在連携している
校区内町会



令和5年度 地域と実施した協働活動

地域ボランティア清掃

文化祭の時，市民会館に行く途中の見守り活動

家庭科など，学習活動の補助

The background is a light gray gradient. It is decorated with numerous realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the frame. In the upper center, there is a faint, circular logo or watermark that appears to contain a stylized figure or symbol.

地域ボランティア清掃

～地域の皆さんと共にボランティア清掃～

本中地域ボランティア清掃とは

本通中学校生徒会が中心となって、生徒に清掃ボランティアを募集し、日頃お世話になっている地域のゴミ拾いをするなど、お掃除をするボランティア活動

令和4年度までの本中ボランティア清掃



本通中学校の生徒だけで実施

令和5年度 本中ボランティア清掃では

本通中学校生徒

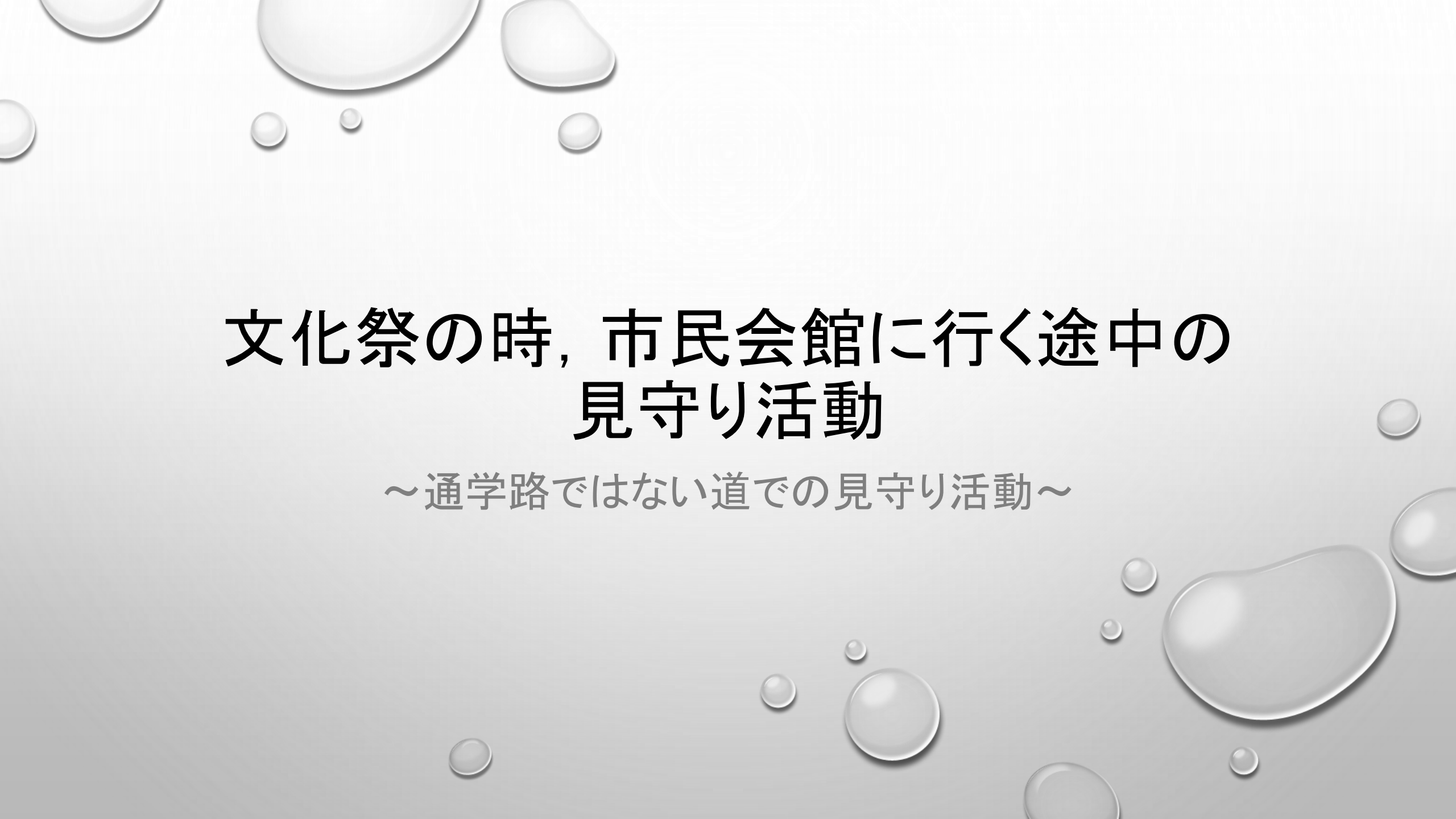


本通町会，本通中央町会，鍛冶町会，
本通中学校運営協議会委員

The background is a light gray gradient. It features several realistic water droplets of various sizes, some at the top left, some at the bottom right, and others scattered in the center. A faint, large circular pattern, resembling a ripple or a lens flare, is centered behind the text.

当日の様子

～令和5年7月3日(月)～

The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. Some droplets are at the top, some at the bottom, and some in the middle, creating a fresh and clean aesthetic.

文化祭の時，市民会館に行く途中の 見守り活動

～通学路ではない道での見守り活動～

文化祭時の見守り活動とは

文化祭の時，市民会館に行く途中の車通りが多い交差点や，歩道での見守り活動

令和4年度までの文化祭見守り活動



教職員だけでの見守り

令和5年度 文化祭見守り活動

教職員



本通町会役員と本通中PTA

The background is a light gray gradient. It features several realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the frame. In the center, there is a faint, circular, textured pattern that resembles a ripple or a seal.

当日の様子

～令和5年9月20日(水)～

The background is a light gray gradient. It is decorated with numerous realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the frame. In the upper center, there is a faint, circular logo or watermark that appears to contain a stylized figure or symbol.

学習支援活動

～地域と保護者とのボランティア活動～

本通中 学習支援活動とは

家庭科などの実習補助や校外学習支援, また,
体育大会など, サポーターとして活躍

The background is a light gray gradient. It is decorated with numerous realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the surface. In the upper center, there is a faint, circular logo or seal, which appears to be the official emblem of a Japanese educational institution, possibly a university or a specific department, though the details are too light to discern clearly.

地域学習

～第1学年 西部地区の校外学習サポート～

The background is a light gray gradient. It is decorated with numerous realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the frame. In the upper center, there is a faint, circular logo or watermark that appears to contain a stylized emblem.

家庭科実習補助

～ミシン実習のサポートを実施～

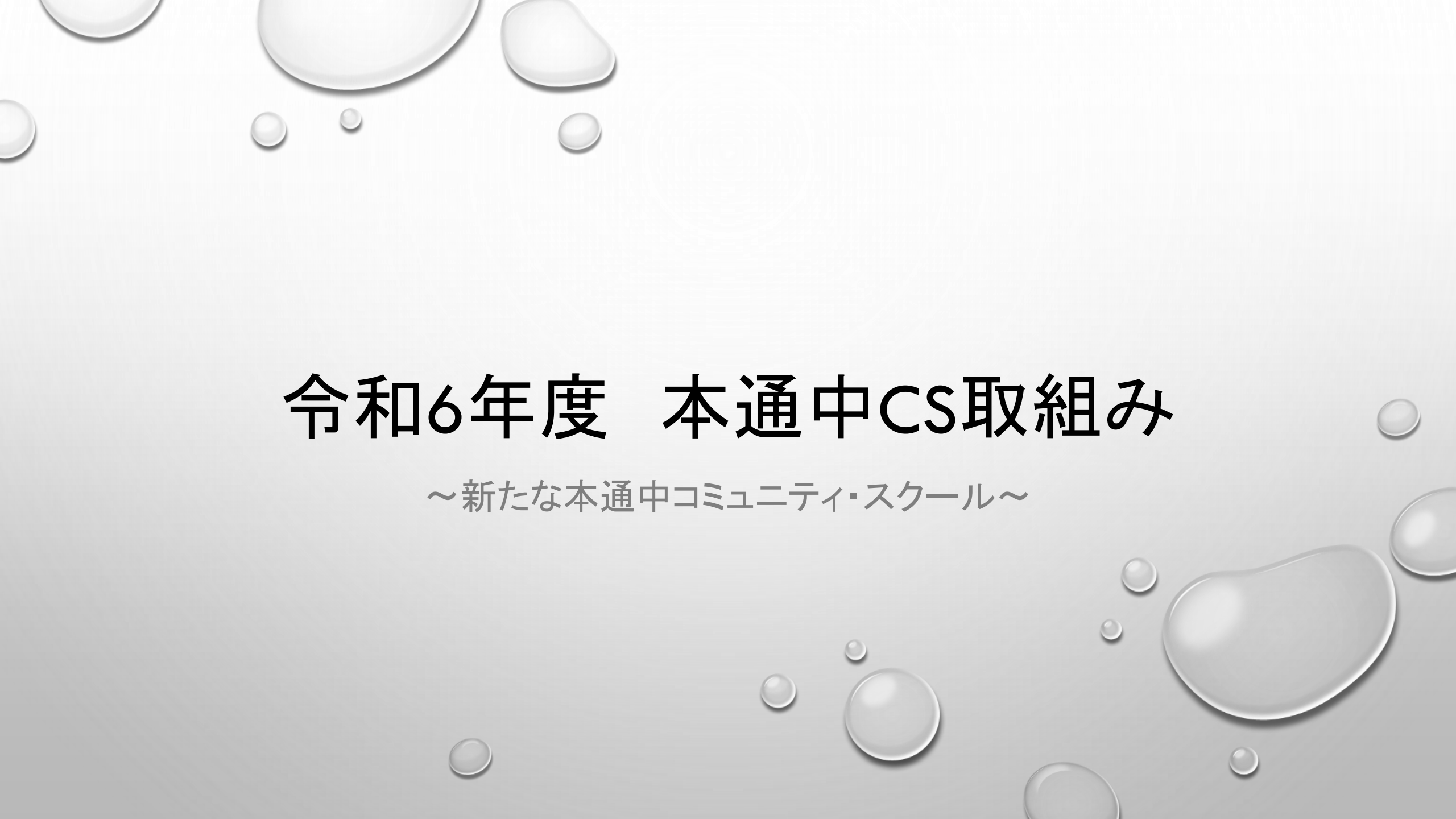
The background is a light gray gradient. It is decorated with numerous realistic water droplets of various sizes, some clustered in the top left and bottom right corners. In the center, there is a faint, circular logo or watermark that appears to contain a stylized figure or emblem.

家庭科実習補助

～調理実習のサポートを実施～

またコーディネーターとして、、、

- 第2学年のキャリア教育実施に向けて、公的機関や事業所、民間企業や個人店などへの問い合わせ作業補助
- 各関係町会や協力事業所への訪問

The background is a light gray gradient. It is decorated with numerous realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the frame. In the upper center, there is a faint, circular logo or seal, possibly a school crest, which is semi-transparent and blends into the background.

令和6年度 本通中CS取組み

～新たな本通中コミュニティ・スクール～



古着deワクチンププロジェクトの発足

地域サポーターの募集

保護者の地域サポーターへの参加協力の促進



函館市立本通中学校 生徒の活動を支援する

地域サポーター 募集



西部地区の校外学習の時、公会堂の前で写真を撮っていただきました。



家庭科の授業に来ていただき、ミシンの使い方に困った時に、アドバイスをいただきました。

函館市立本通中学校では、子どもたちの教育活動を支援していただく「サポーター」を募集しています。
令和5年度は、次のような活動で、サポートしていただきました。



文化祭の時、市民会館に行く途中、交通量の多い場所などで見守りをさせていただきました。



ボランティア清掃の時、一緒に地域のごみ拾いをさせていただきました。



家庭科の授業に来ていただき、ハンバーグの調理実習で困った時に、アドバイスをいただきました。

他にも、「朝の登校時の見守り活動」「体育大会での写真撮影・来場者の交通整理」「クリスマスツリーの飾り付け」など、様々な支援が必要な活動があります。
サポーターが必要になりましたら、学校からその都度、協力をお願いしたい内容をお知らせし、ご都合がよければ協力していただく仕組みです。
保護者の皆様、町会員の方、地域にお住まいの方、どなたでも登録できますので、子どもたちのため、まず、ご登録をお願いします。

地域サポーター登録用紙

※保護者の方は、学校へご提出ください

区分 (Oをつけてください)	ご芳名(ふりがな)	連絡先(携帯番号など)
{ } 保護者 { } 年 組 { } { } 地域住民		
保護者以外の方は、ご住所の記入をお願いします。		
市 町		
ボランティア保険に加入しますので、生年月日をご記入ください。		
西暦	年	月 日生

※活動の際の怪我や事故等に対応するため、学校支援ボランティア保険に加入します。
※記入いただいた個人情報は、保険への加入、サポーターを依頼する際の学校の連絡のみに使用し、今年度終了後、破棄します。(問い合わせ先 函館市立本通中学校 55-3141 担当:教頭)

The background is a light gray gradient. It is decorated with numerous realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the frame. In the upper center, there is a faint, circular logo or seal, possibly a school crest, which is semi-transparent.

体育大会サポート

～PTAによるサポートボランティア～

The background is a light gray gradient. It is decorated with numerous realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the frame. In the upper center, there is a faint, circular, textured pattern that resembles a ripple or a seal.

古着deワクチンプロジェクト

～地域が主体となる新たなかたち～

企業

本通中学校CS

南小協働活動推進委員会

本通町会

本通中央町会

鍛冶町会

古着deワクチンプロジェクト
実行委員会

本通中学校

南本通小学校

事業所

団体

南小CSフェスティバル

南小CS de SDGs 実践編!!

古着
おもちゃ・文房具
お持ちいただければ
どなたでも参加OK!

～古着 de ワクチンプロジェクト～

2023年11月11日(土)

10:00～12:20

(9:30開場・受付開始)

会場 南本通小学校 体育館

来場無料

お楽しみコーナーでは
体験・販売等もあります。
参加費や代金については
各ブースにて現金で
お支払いください。

イベントスペース

10:00～11:00

古着 de ワクチンプロジェクト

“古着 de ワクチン” “セカンドライフ”

協力/なんでもリサイクルビッグバン

古着&おもちゃ交換会

おとな 古着 こども おもちゃ・文房具

残ったものは、“古着 de ワクチン”

“セカンドライフ”へ送ります

みんなで箱詰め作業をしましょう

11:00～11:30

函館巴太鼓による演奏とワークショップ

函館市地域交流

まちづくりセンター

【SDGs見える化診断】

お楽しみコーナー

【体験・展示・販売】

大鎌電気株式会社

【大鎌電気×SDGs】

～電気工事屋のSDGsとは?～

電気回路作成体験 他

参加費無料

アースティ函館実行委員会

【地球にやさしいものショップ】

アクセサリー・雑貨 100円～300円

【シーグラスでフォトフレーム作り】

11:35～ 先着順に受付

参加費 200円

白石農園(北斗市)

【訳あり野菜販売】

詰め放題&詰め合わせ

全て 200円

Sourire cafe

(スーリールカフェ)

【フェアトレードコーヒー】

※HOTのみ

お試しサイズ 200円

フルサイズ 500円

◎マイボトル持参で100円引き!

【オレンジジュース】

お子様 100円 大人 150円

♪その他、クッキーやマフィンなど

コーヒーに合う焼き菓子も販売♪

他にも、
楽しい企画を
準備中♪

ご来場時のお願い

- ◎お車でのご来場はご遠慮ください。駐車場は出展関係者専用となります。
- ◎お買い物の際はエコバッグをお持ちください。
- ◎校内での喫食はご遠慮ください。③校内で食べ物を食べることはできません。カレー等を購入した場合も持ち帰り、ご自宅でお召し上がりください。(飲み物はOK)

主催/南小CSフェスティバル実行委員会

お問合せはこちらへ → 南本通小学校CS協働活動推進委員会

☎0138-55-1281(南本通小学校)



資料

今年度は、本通中学校に場所を変え、南本通小学校CSと協働開催とし、昨年よりも規模を広げ、地域や関係小学校、また、各企業や団体と共同で開催する

学校



地域



地域でつなげるまちづくり・学校づくり

函館市立亀田中学校

コミュニティ・スクール

実践のご紹介

～ コミュニティ・スクールってなに？ ～



地域がつながり 地域を満たすしくみ
学校を核とした新たな まちづくり

誰もがWin Winで
特色ある学校づくり
未来を担う人づくり



「学校だからできる
地域貢献はないかなあ？」

「多様化する学校教育、
先生だけでは、ちょっと
手が足りないんだよねあ」

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の5）に基づいた仕組みです。



「昔から、学校って敷居が高いよねあ」

「学校の施設を使えたらいいのになあ。」

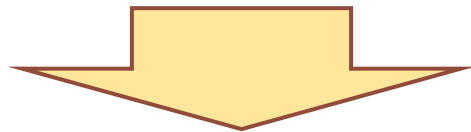
「子どもたちに地域のことを
もっと知って
もらえたらなあ～」

「敷地や花壇の
手入れをしてあ
げたいなあ」



けれど・・・コロナ禍まっただ中

令和2年 さて、何から始めよう？



「つなげてみた」※御用聞き



少しずつ カタチにしていった

歩く速さで 点から線へ

1 まずは近隣の学校どうして

そしたら、北美原地区のケア会議を見つけた！

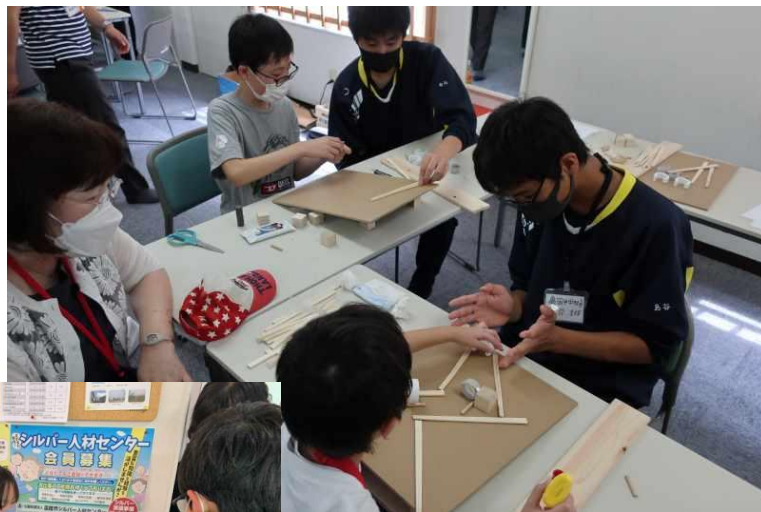
2 お向かいの地域包括支援センター亀田に行く

そしたら、所長さんと課題を共有できた！

3 さらに、町会や児童館、亀田交流プラザにも

そしたら、カタチになりだし、広がりはじめた。

北美原まちのつながりプロジェクト



各関係機関の打ち合わせ
会議を経て…



令和5年8月&11月

地域のWin と 学校のWin

＊生徒のボランティア的ニーズ

全国学力調査から

「困っている人がいたら助けたいか？」



全国平均を上回る「気持ち」がある！

町会のWin と 学校のWin

＊生徒のボランティアニーズ

全国学力調査から

「地域の行事に参加しているか？」



全国平均を下回る・・・機会が少ない？

花かいどうボランティア R5.6 での賑わい



町会のWin と 学校のWin



＊お客さんではなく、スタッフとして…

＊活動の記録も保証して…

＊主催側が主体となる管理で…

→ NEXT 亀プラ「ボラ活」の例…

函館市亀田交流プラザで

ボウ活 しませんか？

4月はゆりえの見本作成
5月はイベント準備
のサポートをお願いします

日程：第1回目 4/15 (土)
第2回目 5/20 (土)
時間：15:30~16:30
場所：函館市亀田交流プラザ

申し込みは必要ありません！
直接3階会議室に来てください

ボウ活って、どんな活動？

函館市亀田交流プラザ児童コーナーの利用者や、先生たちのサポートをする活動です！
毎月1回、第2又は第3土曜日に実施。函館市立亀田中学校の生徒の皆さんにご協力をお願いします。

point ①	point ②	point ③
ほんの少しですが、チョコ等 おやつを用意しています！ 友だちと一緒に、おしゃべり したり、楽しみながら、参加 してほしいと思っています♪	ゆりえの見本を塗ったり、 制作の材料をカットしたり、 イベントの原品を作成したり、 簡単にできる作業です。 自分の得意分野で活躍を！	地域貢献、社会活動として 誰かのために役立てる！ ボランティアに参加して、 人の役に立てる自分に 胸を張って自信を持とう！

気になる！聞いてみたい！参加したい！何かありましたら、気軽にお問い合わせください。

函館市亀田交流プラザ 児童コーナー
函館市美原1丁目26-12 ☎0138-86-6828



教師の引率なし 参加記録をメールでやりとり

北美原まちのつながりプロジェクトをきっかけに はこだて未来大学さんとの授業コラボへ

おまけ



点から線へ

持続可能なつながり

- ・ 「**つなぐ役割**」の大切さ。
- ・ 「引率」の問題（学校の働き方改革）
＝責任の所在・**勤務の関係**
- ・ 定期的活動を急がず。（義務・動員）
- ・ まずは、参加数にこだわらず。
- ・ 「**御用聞き**」ネットワークの確保。 など

校長の野望！？



亀田中 敷地の公園化

花木の手入れ

フットパス

ランニングコース

ビオトープ

バードテーブル 等

コロナ後間もない活動は、まだ緒に着いたばかりです。あせらず、できる範囲で、伝え合いながら進めています。

そして、相互の垣根が低くなり、広がっていくことを願っています。

ご清聴ありがとうございました。

齊藤文大（函館市立北中学校地域コーディネーター）

函館市立北中学校（対馬寿恵校長）特別授業「防災について考える時間」

「特別授業」函館市立北中学校

防災について考える時間

～自然災害を題材に～

「きらめきとふれあいの国際観光都市・函館」
函館市立北中学校 函館市立北日吉小学校
函館市地域学校協働活動推進事業
地域コーディネーター
齊藤文大
令和6年3月1日（金）
@函館市立北中学校

《内容》

自己紹介，企業紹介

導入

- 日本の地勢
 - ・なぜ地震・火山活動が活発なのか
 - プレートと最近の大地震の関係
 - ・函館市周辺の「地震ハザード」
 - ・自然災害の危険度が高い「日本の地形」
- 自然災害とは？
- 顕著な災害例（山地災害を題材に）

自然災害の素因（解説）

- 既存資料から読み取れる「地質素因」
- GoogleMapから読み取れる「地形素因」
- これらから「予測できる」素因

事例紹介

- 浸食海岸の調査事例

H28・鹿部町

（出来淵地区）

海岸浸食

（岩盤崩落進行現場）

～進行中の海成段丘～

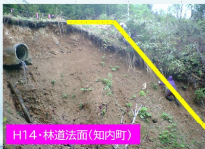


- 山腹崩壊の実例（動画）
 - 山腹地すべりの実例（動画）
 - 能登半島地震により確認された液状化現象
- 体験学習：液状化現象の発生メカニズム（実験）
- 災害から身を守る
- ハザードマップ，家族間の意思疎通，など

◇ 導入：顕著な災害例（山地災害）

● 主な山地災害

○ 山腹崩壊



H14・林道法面(知内町)

○ 地すべり



土塊ごと「落ちる」

○ 土石流



R04・林道浸食(函館市、土石流の発生源)



土砂ダムを形成

その他 ▶ 落石災害など

川の地形とは

1-1

川の地形を源流から河口までを眺めると下の図のようになります。源流付近に降った雨は低い所に集まり、川となって深い谷を刻みながら上流部を出て、中流部では河岸段丘や谷底平野をつくりながら谷の出口に扇状地をつくり、平坦な下流部に流れ出ます。下流部では土砂の堆積により流れを変化させることで氾濫平野や自然堤防などの地形を形成し、海に到ります。

本書に示す「川の地形」とは、川の水が山を削る侵食作用、削った土砂を運ぶ運搬作用、その土砂がたまる堆積作用でできた土地の形のことをいいます。



図1-3 河川地形の全体模式図

国土地理院HPより



令和 5 年度活動報告

令和 6 年 7 月 1 日

[函館市地域学校協働活動推進事業]
北星小学校 地域コーディネーター
作成者: 梶原 亜里沙



[地域交流 遊んで食べよう！！]

In 北星小学校]

[～交流の中で地域社会との繋がりを深めよう～]

実施日時:2023 年 12 月 26 日(冬休み初日 サポート教室終了後～)

実施場所:北星小学校 体育館

参加人数:62 名(うち北星小学校児童 38 名)

北星小学校児童 教職員 PTA カーリンコン協会 地域包括支援センター

社会福祉協議会 地域住民

たくさんの方々にご参加いただきました

内容:冬休み初日、サポート教室(宿題やワークなど持参し勉強)で学んだ後、体育館に集合し軽スポーツであるカーリンコンで汗を流したりプレイルームにて、かるた遊び(防災かるた&SDGs かるた使用)で学びを深め合う。参加者全員(教職員も含め)で楽しむ。昼食には、地域の方が町会館で用意してくれたカレーライスを参加者全員で頂く。おかわり多数で完食！PTAのお父様お母様に配膳のご協力をお願いする。

コミュニケーションを図り、地域、学校、保護者が一体となり遊びや食事を共にするなかで児童が異学年や大人との関わり、地域社会との繋がりをより一層深めることができる。

共に遊ぶ、共に食事することを通して、全体で楽しさを感じながら三者(地域、学校、保護者)で子ども達を育て、見守る目が常にあるということ等、互いに意識の向上、再確認をすることができる。

～今後～

児童数が減少していく中で学校が閉鎖的にならないよう、地域と学校の連帯を深める活動を行っていくうえで連帯する体制を整えるための基盤づくりの重要性を改めて感じた。学校運営協議会や教育活動等に、地域の人材を生かし、活発に協議していける場を増やしたいと思う。

**令和5年度（2023年度）
函館市の
コミュニティ・スクールの取組
～地域学校協働活動実践事例集～**



函館市教育委員会学校教育政策推進室学校再編・地域連携課

令和6年（2024年）6月作成

実践事例集について

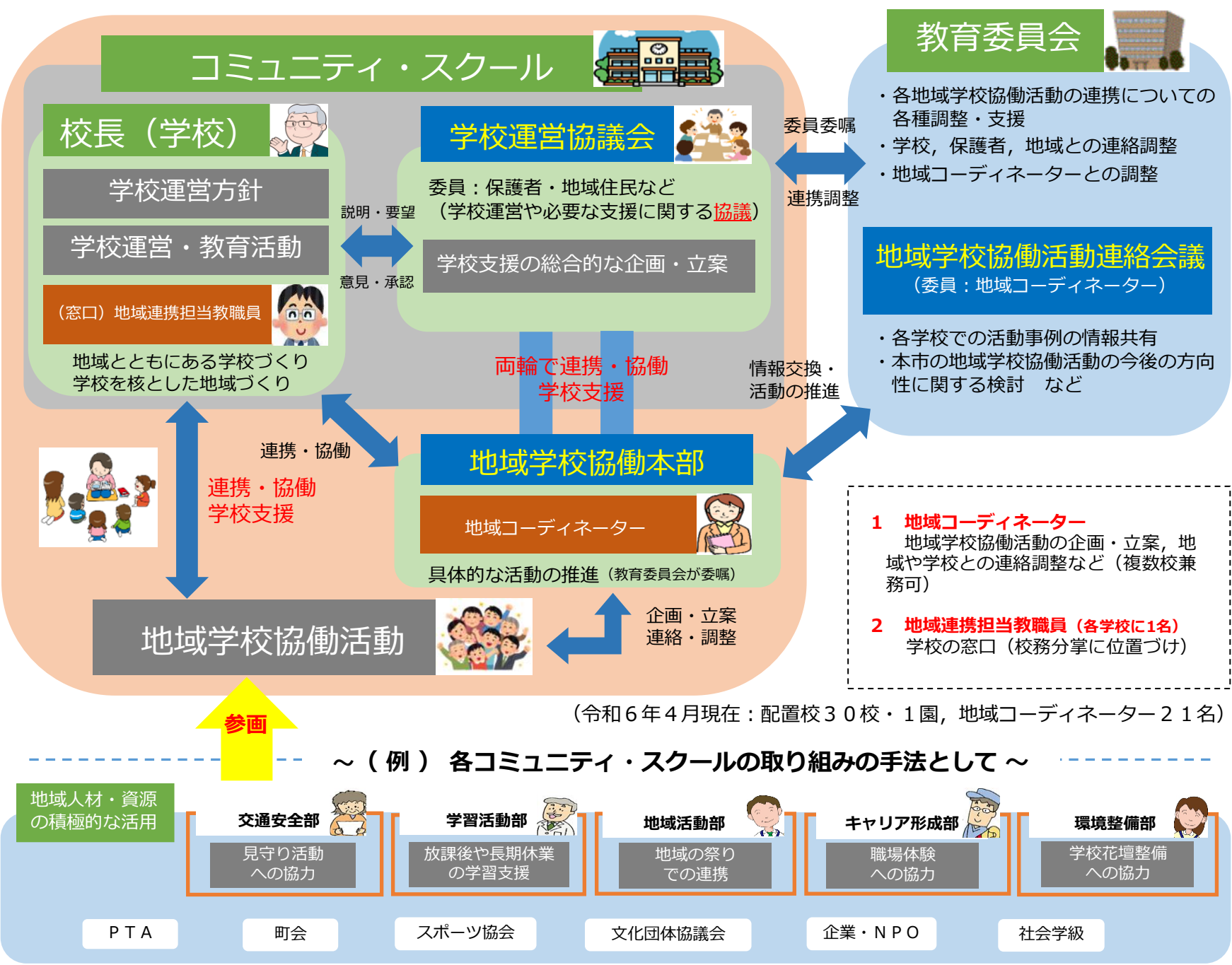


本市では、各地域において、保護者や地域の皆様とともに、学校運営協議会で協議した内容等をもとに、様々な地域学校協働活動が展開されています。

また、令和2年度（2020年度）から、地域と学校をつなぐパイプ役として地域コーディネーターを配置しており、当初は市立学校14校に計8名からはじまり、令和5年度（2023年度）は27校・1園に計17名、令和6年度（2024年度）には30校・1園に計21名に拡充し、さらなる地域学校協働活動の充実を図っています。

本事例集では、主に地域コーディネーターが関わった小・中学校での活動を紹介しています。保護者や地域、学校関係者の皆様におかれましては、今後の活動にあたって、参考にいただければ幸いです。

函館市のコミュニティ・スクールのイメージ図



※ 上記はイメージ図であり，全学校の現状を表すものではありません。

① 青柳中学校・あさひ小学校

地域課題解決学習（福祉）

【活動】

「包括支援センターあさひ祭り」

活動概要	▼中学校区内にある包括支援センターでの祭りのポスターをあさひ小校区放課後児童クラブと青柳中美術部が作成し、当日の運営を青柳中の生徒がボランティアとして手伝った。
活動のねらい	▼自分たちの住む地域に目を向け、持てる力を発揮し地域のために役立とうとする「豊かな心」の育成を目的としている。
活動の成果など	▼奉仕活動に積極的に取り組み、自身の活動を褒められたり、感謝されることで児童・生徒の自己有用感を高めるよい機会となった。



包括支援センターあさひ祭りの様子

主催：青柳ネット
（青柳中・弥生小・青柳小・あさひ小合同CS）

1

活動日・場所

令和5年 9月16日（土）
包括支援センターあさひ

2

活動した子ども

運営ボランティア：青柳中生徒8名
ポスター作製：青柳中美術部、
あさひ小校区放課後児童クラブ

3

地域住民等

地域包括支援センター職員
約10名

② 桔梗中学校

町会との連携
による活動

地域問題解決学習（地域交流）

【活動】

「桔梗地区つながるマルシェ」

活動概要	▼桔梗町会、包括支援センター、桔梗中コミュニティ・スクールが合同でマルシェを開催し、地域の活性化を図った。
活動のねらい	▼地域が一体となって、町会や福祉、青少年育成について実践を通して理解し合うことにより、町全体を知り地域を愛する心を育てることを目的としている。
活動の成果など	▼来場者への対応や運営の手伝い、イベントへの参加などを通し、地域の幅広い年代の人々と交流ができたことにより、地域の活性化の一助となった。



桔梗地区つながるマルシェの様子

主催：桔梗町会・包括支援センターよろこび・
桔梗中CS合同実行委員会

1

活動日・場所

令和5年7月30日（日）
交流スペースよろこび

2

活動した子ども

桔梗中生徒 25名

3

地域住民等

桔梗町会・
包括支援センターよろこび 他

③ 五稜郭中学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域の行事・活動）

【活動】

地域交流会～みんなにやさしいまちづくり「つながりの輪」～

活動概要	▼地域住民，企業，大学生，中学生，外国人技能実習生など地域の多様な人々が集まり，地域の問題や活性化のため何ができるかを，多角的な視点で意見交換を行った。
活動のねらい	▼地域の一員として，自己の役割と存在を見つけることを目的とする。
活動の成果など	▼生徒たちは話し合いにおける積極性や発表におけるリーダーシップが培われたほか，地域との交流を深める貴重な機会につながった。



地域交流会（クリスマス会）の様子

主催：五稜郭中 CS

1

活動日・場所

令和6年1月20日（土）
北浜町会館

2

活動した子ども

五稜郭中生徒 4名

3

地域住民等

北浜町会・企業・大学生・
包括支援センター他 計42名

④ 万年橋小学校

学校支援活動（学習サポート）

【活動】

講話「消防団の仕事」（3年生の社会科の学習）

活動概要	▼3年生の授業の中で，正しい知識やスキルを身に付け，小学生のうちから防災意識を高めるため，地域の消防団員の活動について講話を行った。
活動のねらい	▼防災に関する知識やスキルを身に付けるとともに，児童と地域住民の交流を深めることを目的とする。
活動の成果など	▼地域の消防団員の活動について理解し，体験を通して防災についての知識やスキルを身に付けるとともに，地域住民との交流を深めることにつながった。



講話の様子

主催：万年橋小CS

1

活動日・場所

令和5年11月13日（土）
万年橋小 体育館

2

活動した子ども

万年橋小児童 3年生

3

地域住民等

消防団 2名

⑤ 巴中学校

学校支援活動（受験生応援活動）

【活動】

「函館高盛金刀比羅神社 絵馬奉納祈願祭」

活動概要	▼巨大な絵馬に受験生である3年生の希望者が願いを書き込み、函館高盛金刀比羅神社の奉納祈願祭に参加し、高校合格を祈願した。
活動のねらい	▼旧光成中で行われていた高盛金刀比羅神社での地域の若者の成人を祝う伝統行事を統合校である巴中でも継承していくとともに、合格祈願として受験生を応援することを目的としている。
活動の成果など	▼地域の伝統行事を知るとともに、次代を担う存在として、生徒たちが地域の方々から応援されていることを実感し、感謝の気持ちを持つ機会につながった。



2024年絵馬奉納祈願祭の様子

主催：巴中 CS

1 活動日・場所 令和6年2月11日（日） 函館高盛金刀比羅神社	2 活動した子ども 巴中生徒 6名	3 地域住民等 巴中職員 3名 巴中 CS 3名
--	----------------------	--------------------------------

⑥ 大森浜小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（学校行事）

【活動】

「大森浜教育の日」（2年生「せかいでひとつのわたしのおもちや」）

活動概要	▼家庭・学校・地域が一体となって教育への理解や関心を高めるための取り組みとして、地域住民や保護者が講師となり、学年別に、昔遊び、本の読み聞かせ、理科の実験などを行った。
活動のねらい	▼地域との交流や外部人材の活用を通じ、地域に根ざした学習活動を充実させ、地域の愛着やほこりを育むことを目的とする。
活動の成果など	▼子どもたちと地域住民のコミュニケーションの場となり、地域全体で子どもたちの教育について考え、行動しようとする意識が高まった。



「大森浜教育の日」の様子

主催：大森浜小 CS

1 活動日・場所 令和5年11月18日（土） 大森浜小各教室・体育館	2 活動した子ども 大森浜小児童 393名	3 地域住民等 大森浜小 CS・保護者・町会・ 地域ボランティア 計43名
--	--------------------------	---

⑦ 南本通小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動 (SDGs)

【活動】

古着 de ワクチンプロジェクト「南小CSフェスティバル」

活動概要	▼SDGs に取り組んでいる企業や事業所のブースを設け、ワークショップなどを実施したほか、不用品の交換会を実施し、余った不用品を関係団体に寄付するための梱包作業を参加者全員で行った。
活動のねらい	▼古着や不要なおもちゃなどのリユース活動を通して、身近なところからSDGsに取り組むとともに、学校と地域との交流を深めることを目的とする。
活動の成果など	▼ワークショップや不用品交換会を通じ、SDGs としての取組を実践的に理解できたほか、子どもたちが地域の企業等を知るよい機会となり、地域の協力を得やすい環境を整備する一助となった。



フェスティバルの様子

主催：南本通小CS

1

活動日・場所

令和5年11月11日(土)
南本通小 体育館

2

活動した子ども

南本通小児童 50名

3

地域住民等

南小CS・
地域ボランティア 他 計30名

⑧ えさん小学校

町会との連携
による活動

地域問題解決学習 (地域交流会)

【活動】

「えさん小CS 新春ふれあい交流会 (モルック)」

活動概要	▼毎年行われる新春ふれあい交流会で、子どもたちが地域住民とともにモルックや昔あそびなどを行った。
活動のねらい	▼人口減が進む地域において、子どもたちや地域住民とのコミュニケーションを図る場が失われがちなことから、お互いの交流を深める機会を創出することを目的とする。
活動の成果など	▼子どもたちが、昔あそびやモルックを通じ、幅広い年代の地域住民と交流を深めることができ、地域コミュニティ形成の推進を図る一助となった。



モルックでの交流風景

主催：えさん小CS

1

活動日・場所

令和6年1月23日(火)
えさん小体育館

2

活動した子ども

えさん小児童 38名

3

地域住民等

えさん小CS・
地域ボランティア(函館市社協) 他 計31名

⑨ 昭和小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（見守り活動）

【活動】

「学校と町会が協力した防犯パトロール」

活動概要	▼集団下校時に、町会担当者が同伴し、児童が安心・安全に下校できるよう、児童とともに危険箇所の安全確認をしながら、下校をサポートした。
活動のねらい	▼小学校低学年を不審者から守ることを目的に、小学校と町会が連携して防犯パトロールを実施することで、地域の安全・安心の基盤をつくることを目的としている。
活動の成果など	▼町会担当者からの注意喚起等により、子どもたちは、通学路上の危険箇所を理解することで、より安心・安全な登下校を行う基盤づくりができた。



集団下校の様子

主催：昭和小 CS

1

活動日・場所

令和5年10月10日（火）
昭和小学校区

2

活動した子ども

昭和小1・2年生 計127名

3

地域住民等

町会 約10名

⑩ 深堀中学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（SDGs）

【活動】

「廃材を活用して地域へ寄贈するベンチを作ろう」

活動概要	▼廃材を活用し、小さな子どもから高齢者まで使えるようなベンチを製作し、地域の町会館へ寄贈した。
活動のねらい	▼廃材を活用することでSDGsについての学びを深めるとともに、技術の授業で習得したスキルを実践する機会を設け、さらに、地域に貢献することで郷土愛を育むことを目的としている。
活動の成果など	▼完成したベンチを寄贈し、町会の方に喜んでもらったことや、本活動がメディアにとりあげられたことにより、子どもたちの自信や郷土愛を育むことにつながった。



ベンチ作成の様子

主催：深堀中

1

活動日・場所

令和5年12月16日（土）
深堀中 技術室

2

活動した子ども

深堀中学生 21名

3

地域住民等

包括支援センターゆのかわ 3名
深堀町会 3名 計6名

⑪

千代田小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（見守り活動）

【活動】

「千代田小バンダナ応援隊」

活動概要	▼千代田小のイメージカラーの黄色いバンダナを身に着け、児童が安心・安全に登下校できるよう、見守り活動を行った。
活動のねらい	▼黄色いバンダナを身に着け見守り活動を行うことにより、子どもたちに黄色いバンダナを応援隊の目印として定着させ、より安心して過ごせる町づくりへ結びつけることを目的としている。
活動の成果など	▼見守り活動を通し、子どもたちが安心・安全に登下校できるとともに、黄色いバンダナ＝応援隊として浸透してきたことにより、交流が深められた。



「千代田小バンダナ応援隊」

主催：千代田小 CS

1

活動日・場所

毎月15日
千代田小校区

2

活動した子ども

千代田小全児童

3

地域住民等

白鳥町会・千代田小 OG
計5名

⑫

港中学校・港小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（避難訓練）

【活動】

「地域合同避難訓練」

活動概要	▼港アカデミック・パッケージ・システムズ（MAPS）に基づき、港中校区内の学校と地域教育に携わる幼稚園や大学等の教育施設・町会などの構成員とともに、講義の受講や避難訓練を合同で行った。
活動のねらい	▼学校と地域が合同で避難訓練や避難の在り方を考えることにより、地域全体の防災意識を高めるほか、より本番を想定した避難の仕方を確認することを目的とする。
活動の成果など	▼従前は小中別々に実施していた避難訓練を地域と一体となって合同で実施したことにより、より実践的な避難の在り方を学ぶとともに、避難経路上の危険箇所などの認識を共有できた。



ハザードマップについて学んでいる様子

主催：港中・港小 CS

1

活動日・場所

令和5年9月1日（金）
港小体育館など

2

活動した子ども

港中・港小・亀田港保育園・函館大谷
短大附属港認定こども園 計約500名

3

地域住民等

港中校区内3町会、
各教育施設関係者等

⑬ 北星小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流会）

【活動】

地域交流「“遊んで、食べよう！！” in 北星小学校」

活動概要	▼冬休みを利用し、カーリンコンで汗を流し、かるた遊びで SDGs や防災を学び、地域住民が協働で調理したカレーライスを食べながら、地域、児童、保護者が交流をした。
活動のねらい	▼地域、児童、保護者が遊びや食事を共にしながら、異学年や地域との繋がりを深めるとともに、地域で子ども達を育て、見守るという意識の向上を図ることを目的としている。
活動の成果など	▼児童は、カーリンコンやかるた遊び等でボランティアスタッフや地域住民との交流を通し、地域の活動への興味や関心、これからの関わり方を改めて考えるきっかけとなった。



カーリンコンの説明の様子

主催：北星小地域コーディネーター
北星小 PTA

1

活動日・場所

令和 5 年 1 2 月 2 6 日（火）
北星小 体育館等

2

活動した子ども

北星小児童 3 8 名

3

地域住民等

北星小地域コーディネーター・
北星小 PTA・函館カーリンコン協会
他 計 2 4 名

⑭ 北中学校

学校支援活動（防災教育）

【活動】

防災教育「防災について考える時間～土砂災害を題材に～」

活動概要	▼特別授業として、身近に起こりうる山地災害や地震災害の話題を中心に、自然災害を題材とした防災教育を実施した。
活動のねらい	▼防災意識の向上と、身近に潜む自然災害の危険性を示すとともに、家族との情報共有や避難訓練の重要性など、日常の心得を理解することを目的とする。
活動の成果など	▼実際の地すべりの映像や、液状化現象の再現実験を生徒自身が体験することにより、自然災害の危険性を身近なものとして再認識し、防災意識を高めることができた。



実験の様子

主催：北中

1

活動日・場所

令和 6 年 3 月 1 日（金）
北中 体育館

2

活動した子ども

北中 2 年生 5 9 名

3

地域住民等

ボランティア 1 名

⑮

戸井学園

地域問題解決学習（地域交流会）

【活動】

「餅つき体験多世代交流」

活動概要	▼冬休みの学習会を利用し、福祉学習の一環として高齢世代と児童の多世代が協力して、餅つき・餅づくりを行った。
活動のねらい	▼子どもたちと高齢者が集い、昔ながらの餅つきを再現することで、高齢世代から豊富な智慧や技を学び、伝承しながらお互いの交流を深めることを目的とする。
活動の成果など	▼子どもたちと高齢者が協働することにより、高齢世代の豊富な智慧や技を学ぶことができたほか、お互いの交流を深める良い機会となった。



餅づくりの様子

主催：地域包括センター社協

協力：社会福祉協議会戸井支所、恵山支所、戸井教育事務所

1

活動日・場所

令和6年1月11日（木）
戸井西部総合センター

2

活動した子ども

戸井学園5・6年生 11名

3

地域住民等

ヘルスボランティア 6名

⑯

市立函館高校

地域課題解消学習（キャリア教育）

【活動】

社会人講話（1年生 総合的な探究の時間）

活動概要	▼地域で活躍する様々な職種の社会人を講師として招き、1年生を対象に、仕事の内容や、社会人としての生き方、考え方などについて講話を行った。
活動のねらい	▼高校入学間もない生徒に、働くことや社会に貢献することの意義、楽しさについて講話を通し、自身の生き方や人生を前向きに考えるきっかけを与えることを目的とする。
活動の成果など	▼人生には失敗や挫折もあり、決して平坦なものではないことを知り、恐れずに自己の目指すキャリア形成に向かい、校訓「何を求める」を浸透させる機会となった。



講話を聴く生徒たちの様子

主催：市立函館高校 探究部

1

活動日・場所

令和5年4月24日（月）
市立函館高校

2

活動した子ども

市立函館高校1年生 200名

3

地域住民等

地域企業 5名